

令和5年12月19日

北栄町議会議長 野田秀樹様

提出者	北栄町議会議員	長谷川	昭二
賛成者	北栄町議会議員	中山	功一
賛成者	北栄町議会議員	河本	文哉
賛成者	北栄町議会議員	井川	敦雄
賛成者	北栄町議会議員	蓑原	美百合
賛成者	北栄町議会議員	尾嶋	準一
賛成者	北栄町議会議員	奥田	伸行
賛成者	北栄町議会議員	秋山	修
賛成者	北栄町議会議員	油本	朋也
賛成者	北栄町議会議員	斉尾	智弘
賛成者	北栄町議会議員	町田	貴子
賛成者	北栄町議会議員	前田	栄治
賛成者	北栄町議会議員	津川	俊仁
賛成者	北栄町議会議員	阪本	和俊

ガザ攻撃中止と即時停戦に向けての行動を日本政府に求める意見書の提出について

北栄町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により、上記の議案を提出する。

理由

ガザの深刻な人道的危機の打開は一刻の猶予も許されず、各国政府及び国際機関には国連決議を遵守した行動をとることが求められるため。

## ガザ攻撃中止と即時停戦に向けての行動を日本政府に求める意見書

イスラエルによる大規模攻撃により、パレスチナ・ガザ地区の人道状況は、「子どもたちの墓場と化し、人々の生き地獄となっている」（ユニセフ）とも言われる深刻な危機に直面している。難民キャンプや医療施設、救急車の車列などへの無差別攻撃により、多数の民間人が犠牲となっている事態はジェノサイド（大量虐殺）にほかならない。

10月7日のハマスによる無差別攻撃は国際人道法に違反する暴挙であるが、イスラエルが圧倒的な軍事力で行っている無差別攻撃も国際人道法に違反する暴挙であり、「自衛権」の名の下でも決して許されるものではない。

10月27日、121カ国の賛成で採択された国連総会決議では、「敵対行為の停止につながる、即時、永続可能かつ持続的な人道的休戦を求める」とある。また、11月15日の国連安全保障理事会では、戦闘の「緊急かつ人道的な中断」を求める決議が反対なく採択された。

ガザの深刻な人道的危機の打開は一刻の猶予も許されず、各国政府及び国際機関には国連決議を遵守した行動をとることが求められる。

よって、政府におかれては、下記の事項について取り組むよう強く要請する。

- 1 イスラエルに対し、ガザ攻撃の即時中止を求めること。
- 2 イスラエルとパレスチナ双方に対し、即時停戦に向けた交渉実現のために行動すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月19日

鳥取県東伯郡北栄町議会

提出先

衆議院議長    参議院議長    内閣総理大臣    外務大臣